

令和3年度 第4回生駒市行政経営会議

案件1 令和4年度予算編成方針について（財政課）

〈概要〉

令和4年度予算編成方針を定めた。主なポイントは以下のとおり。

歳入について

- ・一般財源全体額は、令和3年度から3.5億円減の262.4億円と試算した。

歳出について

- ・一般行政経費（経常分）に充当できる一般財源は127.9億円と試算している。
- ・一般行政経費（経常分）は、枠配分を行うとともに、マイナス1%のシーリングを設けて経費を絞り込む。
- ・一般行政経費（臨時分）と投資的経費に係る枠配分は行わないが、予算編成過程において経常経費と合わせて約3億円の削減を目指す。
- ・ポストコロナを見据えた施策については、内容を精査の上、必要な予算を講じる。
- ・新規・主要事業ヒアリングで採択となった働き盛り世代をメインターゲットとする「生駒らしい多様な暮らし方・働き方の実現」に資する事業は、未来への投資として重点的に予算措置を講じる。

査定方針等について

- ・査定は原則一件査定とし、一般行政経費（経常分）については、予算編成方針の留意事項が守られていないもの、新規のもの、その他特に理由のあるものを中心に行う。
- ・一般行政経費（臨時分）及び投資的経費については、事業効果、必要性、優先順位、積算根拠等により査定を行う。
- ・予算要求書の提出期限は一般行政経費、投資的経費とも11月5日（金）とする。

〈会議での結論〉

了承

【主な意見】

- ・歳入について、市民に広く募集すれば一定の寄附が集まり、近年ではガバメントクラウドファンディング等の手法もある。ファンドレイジングに関して専門知識を持つ職員もいるので、先進事例を参考にしながら工夫できないか考えてもらいたい。
- ・アフターコロナを見据え、まちに活力を戻していく年度になる。次の50年につながるような持続的な効果を持つ取組を期待している。ヒアリングの場で積極的に提案してもらいたい。
- ・衆議院議員総選挙後、大規模補正予算が出てくるはずなので、機敏に対応できるよう備えてもらいたい。

案件2 押印見直しの推進について（行政経営課）

<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月に「押印の見直しに関する方針」を策定、押印見直しに関する全庁調査を実施した。 ・今後の流れとしては、「押印見直しのための判断基準」を参考に、手続き所管部門において、押印の見直しを進めていく。 ・押印を廃止した書類の公開（窓口・ホームページ）は令和3年12月28日までに対応をお願いする。 ・最終的に、押印を廃止した書類の一覧・件数を公表するため、更新した「押印見直しに係る照会」を令和4年1月11日までに行政経営課まで提出してもらいたい。 	
<会議での結論>	了承

【主な意見】

- ・指定管理者の自主事業や委託事業も対象になるか。
- 照会への記載は不要だが、市と同様の対応をお願いする。
- 成果として公表できるよう、各部で把握しておいてもらいたい。
- ・リストを見ていると各課で足並みが揃っていない。本人確認の信憑性をどう確保するかをはじめ、プロジェクト推進チームで整理した見解等、事務処理として抑えるポイントを研修会などで共有した上で進めた方がいいのではないか。
- プロジェクト推進チームで話し合った結果、それぞれの手続きで統一した見解を出すことは難しいと判断した。手続きの必要性を含めて所管課で話し合ってもらいたいという意図もあり各課判断としているが、疑問点は直接照会できるよう問い合わせ先を周知し、合わせて、研修会などを行う予定。
- 共通で引かかるパターンが出てきたら都度集めてきめ細かにフォローしてもらいたい。各課からも早めに問い合わせしてもらえたら把握しやすい。

その他

<p>衆議院議員総選挙を迎えるにあたって</p>	
<p><概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院議員総選挙が10月31日に決定したことに伴い、情報共有しておくべきことがあればお願いしたい。 	
<会議での結論>	-

【主な意見】

- ・期日前投票所として北コミが加わり、2か所に増えたことが前回からの大きな変更点である。
- ・ワクチン接種事務と選挙事務が重なるため、職員の疲弊を避けるためにもメリハリのある対応をお願いしたい。
- 各部から協力職員を出してもらおうことになるが、できる限り配慮する。